

# わが街 わが地区

協会の東大阪・八尾・柏原地区は6月16日、矢部あづさ氏(八尾市開業・協合理事)を講師に「インプラントの臨床について」を八尾プリズムホールで開いた。歯科医師15人が参加した。

矢部氏は、口腔内診査や術前準備について説明したうえで、「インプラント成功のカギは徹底的

## 東大阪・八尾地区 インプラントの臨床 成功のカギは滅菌・消毒



埋入までの術式を説明する矢部氏 = 6月16日、八尾市内

に滅菌・消毒することである」と述べた。スライドを使い症例を紹介しながら、インプラント埋入までの術式を分かりやすく解説した。

最後に貴島正彦副理事長が、6月からの住民税



遭遇しそうな合併症を話す白川氏 = 6月16日、高槻市内

協会の三島地区は6月16日、高槻市立生涯学習センターで地区講習会を開き、歯科医師ら15人が

## 三島地区 肝・腎患者への対処法 医科・歯科越えた議論に



信頼関係を築くことの大切さを話す福原氏 = 6月17日、豊中市内

参加した。前回に続き「高齢者の歯科治療」②肝疾患腎疾患患者の対処法」と題し、今回は肝

引き上げにより受診抑制に拍車がかかることなど厳しい医療情勢が続くなか、協会運動の前進と地区活動の活性化のために協力を呼びかけた。

協会の北大阪地区は6月17日、千里朝日阪急ビルで福原稔氏(吹田市開業)を講師に「予防歯科のための『意欲を引き出すコミュニケーション』」を開き、歯科医師ら31人が参加した。

福原氏は、患者とのコミュニケーションについて、患者と信頼関係を築くかを中心に解説

## 北大阪地区 患者とのコミュニケーション 福原氏 積極傾聴の重要性指摘

また、同氏は「自分(医療側)の価値観と相手(患者側)の価値観が違うのは当然で、多様な考えを身に付け自分とは違う相手の価値観を受けとめるために、いったん自分の価値観を脇においておく。思い込み・憶測・解釈を取り除くことで、患者さんの本心に言いたい

ことを引き出し、医療者との信頼関係を築く。また、患者に考えてもらいたいこと、共通の目的を持つプロセスを共有する。患者が「こうなりたい」と思う「いつまでもきれいな歯でいたい」という夢を医療者と共有することで、大きな信頼関係が生まれる」と、相手の言うことを積極的に聞く積極傾聴の大切さを述べた。

英語で、患者さんをベインシエントというが、訳すと「病んでいる人」とか「苦しんでいる人」になるが、我われ医療者は悩んでいる人の心の鎧を取り除き、病気という共通の敵に闘いを挑むほうが実は近道でスムーズにいくのかも知れない。

(吹田市・糠谷吉秀)



実習を交えて学ぶ参加者 = 6月24日、保険医会館

## 座談会 92人が実習交え大いに学ぶ 基礎的マナーから専門的知識まで

協会の歯科臨床・学術学会部は6月24日、新人スタッフ総合講座を開き、歯科衛生士、歯科助手

ら92人が基礎的な接客マナーと専門性を学んだ。岩崎小百合氏(臨床学術学会部員)が「私から

患者さんへのグッドコミュニケーション」と題して、歯科医院で求められるコミュニケーションについて解説した。同氏は「コミュニケーションには非言語的(non-verbal)コミュニケーションと、言語的(verbal)コミュニケーションの2種類がある。前者は話をする場所や位置、姿勢、表情、視線、服装、動作、沈黙が該当する。後者は語尾の上がる返事は不服、語尾の下がる返事は諦めのニュアンスがある。返事一つに表情あり！」を忘れないように」と強調し、電話応対時の

姿勢や声の出し方、患者への質問やアポイントの入れ方など、基本的な電話心配について自身の体験を交えて語った。

午後からは、歯科衛生士編・歯科助手編にそれぞれ分かれて、専門的な知識を深めた。

歯科助手編では、『アシスタントのための歯科保険診療ハンドブック』を用いて、富本昌之氏(港区開業)が口腔内各部の知識や歯科保険治療の流れや概要をイラストや写真で説明した。被保険証の見本を使って、被保険者証から読み取るべき内容をカルテに転記した。

## 第4回理事会 運動推進へ新体制 7人の副理事長を選出

協会が6月9日に開いた第4回理事会で、伊津進弘理事長が評議員会・総会で議決された07・08年度活動方針・重点課題にそって挨拶、①疲弊した歯科業界を立て直すため経済を立て直す。そのためには社会保障の充実が必要②医療分野では保険診療の内容充実、保険

実際のケースブレや歯科衛生士としての心構えなど、今後の参考になるような話題がたくさん出された。患者と指導役を相互実習するなかで、各々の指導内容を見つめ直す良い機会となる講習内容となった。

医療体制の改革が必要③組織の基盤である地域活動を活性化していく。と歯科医療の改善、社会保障の充実を重視していく姿勢を示した。

理事会は、評議員会で選出された理事22人の中から7人の副理事長(別掲)を選出した。先に理事の互選により選出され

参加者からは、「同じ言葉でも言い方や表情で相手の印象が変わってくるのが分かって良かった」「質問しやすかったので、自分に足りないところがよく分かった」という声が多く寄せられた。

た伊津進弘理事長から推薦され、出席した理事全員が賛成した。

運動対策では、規制改革会議や財政制度等審議会が来年度予算編成に向けて医療費抑え込みを狙った制度改革の考え方を打ち出していることを受け、7月の参議院選挙で医療問題を争点に押し上げる。そのため、「医療にまわすお金を増やし、保険でよい歯科医療の実現を求める請願署名」を6月中に開始すること、医療給付のあり方や保険料負担を根本的に変える後期高齢者医療制度の問題点を広く知らせることなどを決めた。

署名もあわせて取り組む。

レセプトオンライン請求問題と医療を取り巻く状況をつかみ、秋以降の運動を準備するため、8月26日にサマーセミナーを開く。

会務運営では、次回理事会を目的に専門部の体制を固めることにし、理事の専門部担当、部員委嘱を準備していくことにした。自主共済保全の運動では、議員立法への賛同を広げることを確認した。

選出された副理事長  
小澤 力(新大阪市)  
貴島 正彦(現大阪府)  
下井戸昭介(現堺市)  
辻本 勝(現大阪市)  
永田 悦夫(現茨木市)  
山上 紘志(現堺市)  
吉田 裕志(新大阪府)

会務運営では、次回理事会を目的に専門部の体制を固めることにし、理事の専門部担当、部員委嘱を準備していくことにした。自主共済保全の運動では、議員立法への賛同を広げることを確認した。

# 求人

## ハーモニックにおまかせ下さい

歯科医師
衛生士
助手
技工士

**優秀な人材をご紹介します**

常勤、アルバイト、パートに関わらず人材採用のお手伝いをさせていただきます。弊社にて事前に面接済の求職者の中からご希望の条件と合う方を探し、ご紹介致します。

ホームページ <http://harmonic-net.co.jp/index.html>

24時間受付

お気軽にお電話下さい

① 求人票送付

③ マッチング(ハーモニックにて)

④ 面接

⑤ 採用

② 求職者が求職票送付

条件合意

⑥ 不採用

※求人内容によりましてはご紹介が難しい場合がございますので予めご了承願います。

株式会社 ハーモニック

(和田精密グループ)

フリーコール 1-114510  
TEL 0800-1114510  
FAX 06-6393-3232

e-mail: [osigoto@teeth.co.jp](mailto:osigoto@teeth.co.jp)

担当: 下田

532-0002 大阪府淀川区東三国1丁目12-15 辻本ビル7F

有料職業紹介業 27-ユ-300406  
一般労働者派遣業 般-27-06-0054